

☆☆ 住み手と専門家のネットワーク ☆☆☆

NPO建築ネット

http://www.kenchikunet.org E-mail:kenchiku@d2.dion.ne.jp

No.21

特定非営利活動法人(NPO法人)
建築ネットワークセンター
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-20-3
渡辺ビル505
TEL 03-5386-0608 FAX 03-5386-1065

安心できる住まいを

6.14「住まいは人権デー」に宣伝行動

6月14日、国際的な「居住の権利宣言」が採択されたのを記念し、「住まいは人権デー」として、池袋東口で宣伝行動が取り组まれました。主催は、国民の住まいを守る全国連絡会(NPO法人建築ネットワークセンターなど17団体が加盟)、NPO法人自立生活サポートセンター・もやい、スマイルサービス闘争を支援する会です。

宣伝行動には、建築ネットの小松田理事長をはじめ約50名が参加し、1000枚のピラが配布され、9名の代表が発言しました。「『建

てない、入れない、追い出す』をやめ、公共住宅を増やせ」「ハウジングブアをなくそう」「安心できる住まいを」と訴えました。

マスコミも数社が取材にくるなど注目が集まり、通行人から「その通り」と声援の音が寄せられました。

小松田理事長は、「私たちが主張してきた『住まいは人権』のスローガンがいまこそ現実的に大事になっている時はない。多くの団体、個人と共同の輪を広げ、活動していきたい」と抱負を語っています。

なぜ、6月14日なの?

1996年6月、トルコのイスタンブールで、第2回国連人間居住会議が開催され、日本を含め171カ国の政府代表、国連機関、市民代表が参加して、活発な議論が交わされました。その結果、「居住の権利」ということを、基本的人権として位置づけることが、会議最終日の6月14日に、世界各国の合意で承認されました。それを記念して、6月14日を「住まいは人権デー」として運動をしています。



マンション問題連続講座

参加予約受付、ご一報ください

- ⑥ 9月19日(土)午後1時30分～
「塗装・水漏れ(設備)対策」
講師 森川純一(一級建築士)
- ⑦ 10月17日(土)午後1時30分～
「紛争対策と裁判」
講師 中野 誠(マンション管理士)
- ⑧ 11月21日(土)午後1時30分～
「コミュニティ(合意形成)づくり」
講師 小俣昭光(マンション管理組合理事長)

無料相談会のご案内

準備のため、いずれも事前に連絡をお願いします。

◆住まいと建築なんでも相談

毎週月曜日午後1:00～4:00

その内容に合った専門家、一級建築士が対応します。

◆マンション管理相談

第4土曜午後

内容によって弁護士、マンション管理士、建築士等専門家が複数で対応します。専有部分(お住まい)の事は月曜です

◆住まいづくり相談

毎月第4木曜日(祝祭日除く)午後2:00～5:00

リフォーム、新築など建築、設備、内装の専門家、健康住宅アドバイザー、ハウスマンテナーなどが対応します。

◆住まいと福祉、住まいの改善相談

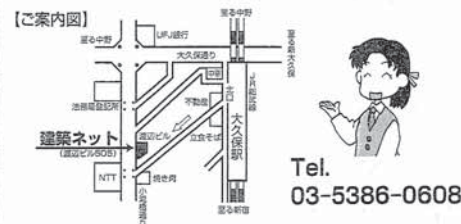
毎月第4木曜日(祝祭日除く)午後2:00～5:00

住まい、福祉、まち懇談会のメンバーが主に対応します。

場所 NPO建築ネット事務所

●その他の相談、勉強会●

現地調査、設計等実務作業は有料です。相談、契約の上規定の費用がかかります。遠方の場合や業務範囲外の場合、友好団体を紹介することもあります。



研修・講演会のおさそい

「住宅事情と展望」を考える

講師 平山洋介氏 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科教授

●とき 11月14日(土)

開場 午後1時30分 開会 2時

●ところ 全水道会館

JR総武線水道橋駅東口下車、徒歩2分

主催 NPO法人 建築ネットワークセンター
電話・03-5386-0608

マンションに住んでいる人、公営住宅に住んでいる人も、「これからどうなるのか」と将来の展望を持ってないでいます。

また、「いまの若者・自分の子どもの住宅確保はどうなるのか」と心配な状況です。

国・自治体の住宅政策の視点、生活者の視点で、ぜひ、一緒に考えていきましょう。

ひろほろ... 先日、低周波の相談ができる関係官庁の所在についてご連絡頂きまして、ありがとうございました。先週、専門家のSさんにお会いして、お話を伺うことができました。昔の専門家で、さっといういな計算のできる方でした。今後も疑問があったらいつでも電話で問い合わせをしても良いといったいただきました。ご紹介ありがとうございました。
2009年6月29日 萩久保幸子



揺れる新築住宅 車輛通過のたびに騒音に悩む

その1

A夫妻が近郊に木造の住宅2階建てを建てました。ベタ基礎、木造在来工法、延べ床38坪、それまでも家屋はあり不自由なく生活していたのですが、市道が拡張するので建て直しました。

屋根は金属折版葺き壁も金属角波板で外観はメタリック調で端正な若々しい感じです。ところが意外に大きな問題がありました。雨が屋根を打って車両が通過する度に振動と騒音がして2階寝室に1階の音が聞こえるなど深刻です。A夫妻は入居後直ちに堪え難い振動を感じ取って、まもなく建築士に対策を求めました。

建築士は外壁の金属版を除去して硬質のセメ

ント系中空版に替え、金属屋根には防音塗料を塗布しました。その結果、外壁や屋根の降雨音はだいぶ少なくなりました。しかし依然として振動は止まっていません。

A夫妻はその後新たに相談を当センターに寄せて問題解決は振り出しに戻りました。騒音の仕組みはこれから説明するとして敷地と道路の間にシートパイルをうって縁を切ることを考えてみましたが、騒音調査書を見ると、30デシベルの騒音に対して不快を感じるのとことで、果たしてそのような対処で解決するか疑問であって、満足いく解決は容易ではありません。

荻野廣己 (一級建築士)

その2 施主が選んで建てました。



建築ネットのなかで設計協議をして、施主家族が多面的に考え選択したものです。

設計の過程、施行中の変更の見積もり、出来栄え、植栽など気に入ってもらいました。

通りの人から「きれいだね」の声もあるとのこと。

鎌倉市、木造2階建て、29坪
2009年1月竣工

ティーたいむ

夏場の水分補給7カ条 水と麦茶が最適!!

乳幼児、高齢者はとくに気をつけて!

夏場、気温が30度近くになると、体内の水分は急激に、汗として消費されはじめます。そして気温、体温が1度上がるごとに加速度的に水分は失われていきます。適切な水分補給をしないと、脱水症状、熱中症を起こし、短時間でも、命にかかわる状態に陥ることがあります。とくに、乳幼児の水分消費は大人の2倍、周りのおとなが十分に注意を。また高齢者では、自覚症状が乏しいため、自宅内の発生も多く熱中症発生の7割が高齢者です。近所の方に声をかけましょう。

①暑いときは、のどの渇きを感じる前に、こまめに、チビチビと水分補給。ガブ飲みすると尿に排泄されます。②速やかに脱水症状を改善するのは、水と麦茶です。常に身近に用意を。自動



- 販売機を利用の時も水か麦茶を選びましょう。
 - ③水分補給になりにくい飲み物に注意!
カフェイン含量の多いコーヒーやお茶などは、利尿作用が強いので脱水症状を改善しにくく、適しません。
 - ④スポーツ後や、湯上りのビールも脱水状態を助長し病気を誘発し危険、必ず水を。
 - ⑤ジュース類はいろいろな栄養分が同時に入るため、水に比べて水分吸収に時間がかかり、たびたび摂取するには適しません。
 - ⑥高齢者の方で水が飲みにくい場合は、味のうすいお吸い物や、昆布茶、野菜スープを用意したり、コップに小さな氷の用意を。
 - ⑦激しいスポーツや、長時間炎天下にいるときは、500mlの水や麦茶に対して、ひとつまみの自然塩を溶かして利用します。
スポーツ飲料は、「水より健康に良い」と思われがちですが、平常時に水代わりに飲まないようにしましょう。
- 家庭栄養研究会・松永眞理子

「建築ネット」からのお願い

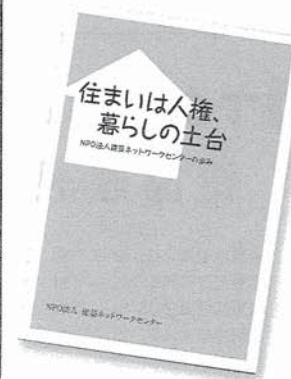
●NPO法人「建築ネット」に入会してください。

「欠陥住宅問題を解決し、安全で快適な住まい(マンション)とまちづくりを促進し、そのための取り組みによって社会全般に寄与する」という目的に賛同する人はどなたでも会員になれます。会費は月1000円、入会金5000円です。また、賛助会員の会費は年間一口10000円です。ぜひ、お気軽にご入会ください。

●運動資金カンパにご協力ください。

●住宅問題で困っている人をご紹介ください。

住む人の立場で活動して15年 NPO法人 建築ネットワークセンターの歩み



好評
販売中

A5判
100ページ
頒価
500円